

科目名	地域経済政策論	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学科	■必修 □選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	Regional Policy of Economy	開講年次	□1年 □2年 ■3年 ■4年		
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中		
ふりがな	のぐち ひでゆき	実務家教員 担当科目		修得単位	2単位
担当者名	野口 秀行	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面 遠隔併用		
授業のテーマ	ローカルアベノミクスと地方経済の生産性				
到達目標	地域経済の現状と課題の整理と課題の解決策を自ら考える				
授業概要	秋田が抱える課題を考察するとともにアベノミクスの地方創生法に活路を見出す				
授業計画					
第1回	アベノミクスと地方創生①～戦後日本経済と地方経済 なぜ地方は東京の黒子になり下がったのか				
第2回	アベノミクスと地方創生②～少子化を生んだ秋田の産業政策の混乱				
第3回	情報通信産業振興政策と地域経済～日本の中堅企業が日本経済の成長エンジン				
第4回	地方産業インフラ整備と地域経済①～震災復興は何処まで来たのか				
第5回	地方産業インフラ整備と地域経済②～移動革命の実現 HVからEVへ 脱炭素革命への認識は如何				
第6回	地方経済が一気にグローバル化する可能性～北上におけるILCは				
第7回	地方創生と産業クラスター論～サプライチェーンの次世代化				
第8回	コネクテッドインダストリーズと秋田の産業振興策～飯田市における航空宇宙産業				
第9回	秋田のリーディング企業～世界的な高シェア企業・世界最先端の技術～同和鉱業を事例に				
第10回	秋田の地域政策・都市政策～まちづくりの基礎 5Gで都市はどう変わるのか 20代に任せてみたら!				
第11回	増田レポートの根本的認識の違い～スモールの経済 限界集落からの脱却と古民家空き家ビジネス				
第12回	国家戦略特区～事例分析を中心に①新潟市の最先端農業の可能性				
第13回	国家戦略特区～事例分析を中心に②湯沢市の高齢社会におけるITリテラシー				
第14回	地域成長支援ファンドとハンズオン投資そしてICO～広がる地方の選択と成長可能性				
第15回	SEGsとESG 欧州グリーンディールと地域開発				
第16回	期末試験				
授業時間外の学習	予習復習の徹底、事前配布のプリントに目を通しておくこと				
履修条件 受講のルール	地域に関心を有していること				
テキスト	プリント配布				
参考文献・資料	追って連絡します				
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。 出席回数が規定に満たなかった場合、その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日				
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)				

学生への  
メッセージ

秋田を元気にするために何が必要かを一緒に学びましょう